



## アンケートへのご協力、ありがとうございました

令和4年3月

- A=できている
- B=どちらかといえばできている
- C=どちらかといえばできていない
- D=できていない
- 無=無答

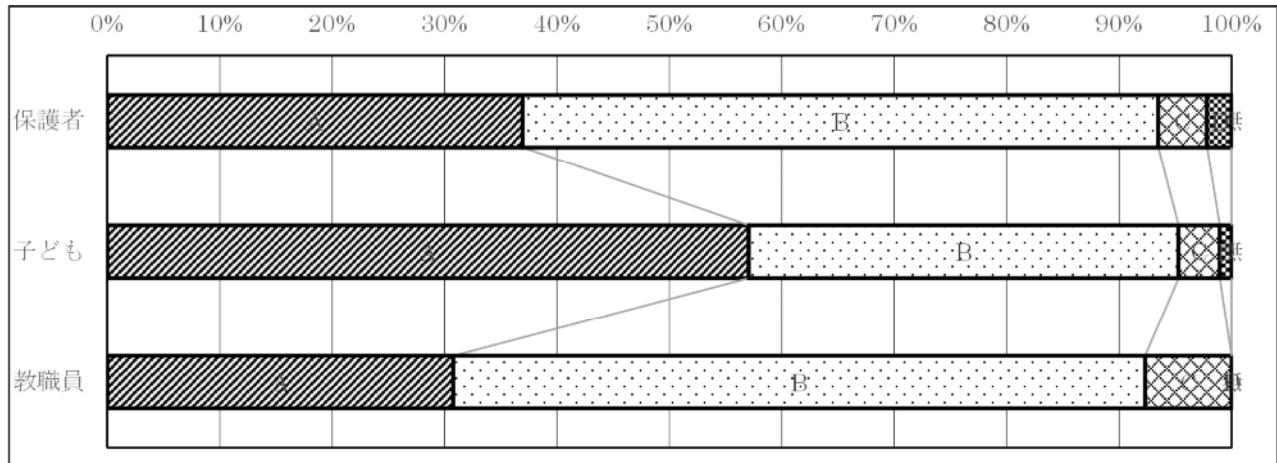
桃の節句も過ぎ、すっかり春めいてまいりました。子どもたちの学校生活を生き生きと楽しいものにするため、また今後の学校改善に役立てるために、2月にアンケートを実施し、保護者の皆様からご意見をいただきました。いただいたご意見を謙虚に受け止め、学校運営に生かしてまいります。アンケート結果につきまして昨年度と同様に、内容の似た項目について保護者・子ども・教職員三者がどのように違うのか、あるいは似通っているのかを紹介させていただきます。

また、前期同様、Microsoft Forms でご回答いただく形式をとっております。だいぶ慣れてきていただいたかと思いますが、今後もこの方式を続けていきたいと考えていますので、ご理解のほどよろしくお願いします。

① 子どもは学習内容がわかり力をつけている。  
(保護者)

毎日の授業はよくわかる。(児童)

教材研究・教材作成に努め、一人一人に分かる授業を工夫している。(教職員)



今年の前期と比べて、児童と保護者の評価が上がっています。行事が少なかった分、落ち着いて学習できた結果ではないでしょうか。

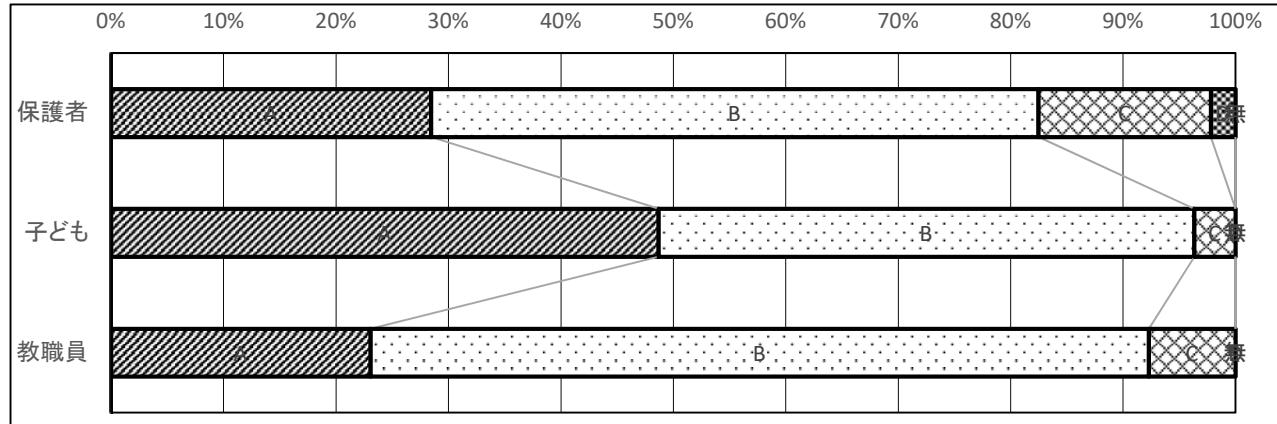
また、GIGA 端末を利用した学習にも慣れ、学習内容を理解するうえで、有効であったと思われます。ただ、教職員の「A」の評価が低いのは、教職員自信が納得できる教材研究・準備をする時間が少ないと感じていると思われます。

学校全体でタイムマネジメントを高める必要性を感じています。学習内容を定着させるために家庭学習の充実を図れるよう、保護者の方のご協力も合わせてお願いします。

② 子どもは人の話をしっかり聞いている。  
(保護者)

授業中人の話をしっかり聞いている。  
(児童)

子どもたちはしっかり話を聞き、意欲的に学習に取り組んでいる。(教職員)



今年の前期と比べて、保護者の評価が下がり、児童の評価が上がっています。子どもたちは、コロナ禍でのマスク越しの会話環境の中、口形で判断できない分、しっかりと聞くようになってきています。

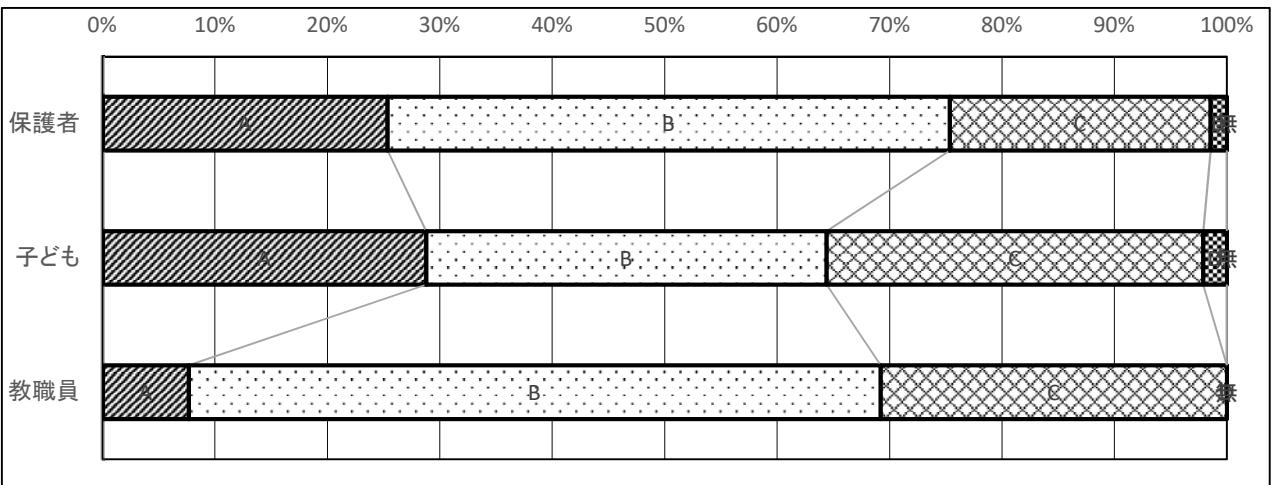
教職員の評価で、後半の「意欲的に学習に取り組んでいる」部分が、不十分だと感じていることが、「A」の少なさにつながっていると思われます。

「聴く力」は学習の基礎となる力なので、来年度も引き続きしっかりと身に付けていくようにしていきたいと思います。

③ 子どもは思ったことや考えたことを発表している。人に話している。(保護者)

自分の思ったことや考えたことを発表している。(児童)

子どもたちは相手に伝わるように自分の考え方や思いを発表できている。(教職員)



今年の前期と比べて、児童と保護者の評価が上がっています。特に児童は、約 5% 上昇しています。一つには、GIGA 端末を使用した授業展開の中で、自分が調べた学習内容を、自信をもって発表できていることが挙げられます。自信をもって発表するためには、それを裏付ける根拠が必要になります。確かな根拠を持つための、調べ学習の力がついてきています。

また、大前提として、児童が安心して話せる学級の雰囲気が大切です。引き続き、子どもに寄り添う学級経営と子ども自身が自己肯定感を感じることができる取組を進めていきます。

④ 子どもは家で本を読む習慣がある。  
(保護者)

家でも読書している。(児童)

おはよう読書や本かばんの活用、毎月のノーテレビ・ノーゲーム・読書デーの取組で、子どもたちは進んで本を読むようになっている。(教職員)

⑤ 子どもは宿題や復習など家庭学習をしている。(保護者)

家で宿題やおうちで決めた学習をしっかりとしている。(児童)

家で宿題や復習などができる。(教職員)

⑥ 子どもは次の日の学習の準備ができている。  
(保護者)

次の日の準備をきちんとできている。(児童)

子どもたちは忘れ物をせず、学習の用意ができる。(教職員)

⑦ 子どもは毎日楽しく登校している。  
(保護者)

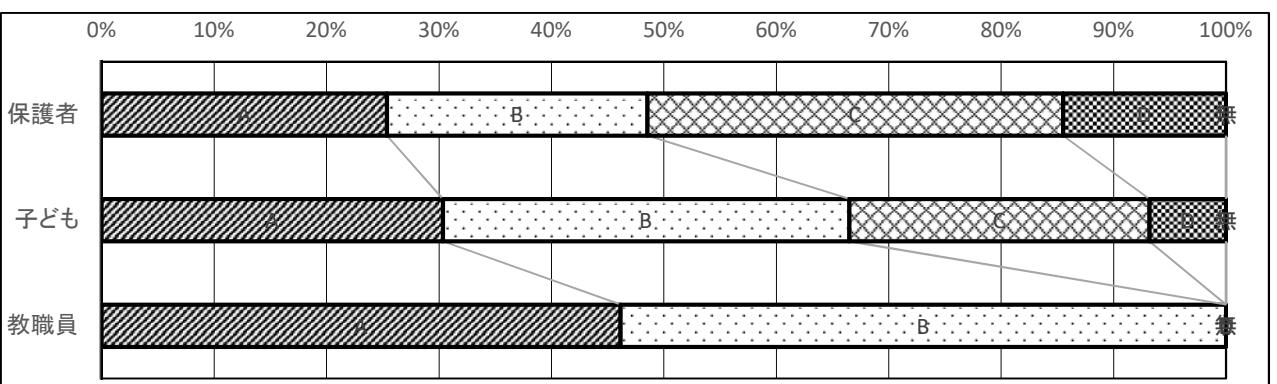
毎日の学校生活が楽しい(児童)

子どもたちは、学校や学級を楽しいと思っている。(教職員)

⑧ 子どもは約束や決まり事を守っている。  
(保護者)

学校や学級のきまりや約束を守っている。(児童)

子どもたちは約束や決まり事を守っている。(教職員)

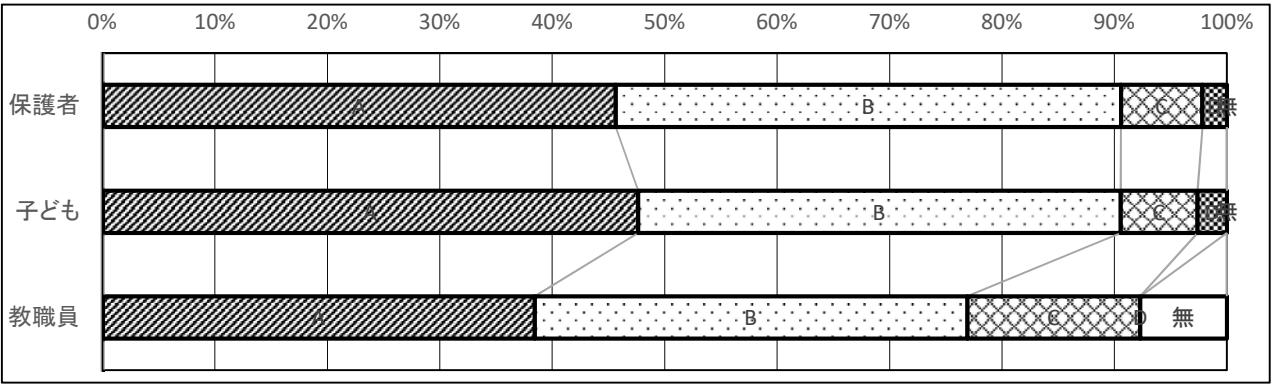


今年の前期と比べて、児童と保護者の評価が上がっています。前期に引き続き、外出しにくい状況下で、読書に取り組みやすいこともあります。ただ、他の項目に比べると、まだCとDの割合が多いです。SNSやゲーム、動画視聴に慣れてしまうと、じっくりと頭の中で反芻する読書は面倒に感じると思います。ただ、その労力をいとわないことが、思考力、想像力、発想力を培うことにつながっていきます。ご家庭でも、子どもたちと一緒に読書の時間を少しでも作っていただけたらと思います。

今年の前期とほぼ同じ結果になっています。

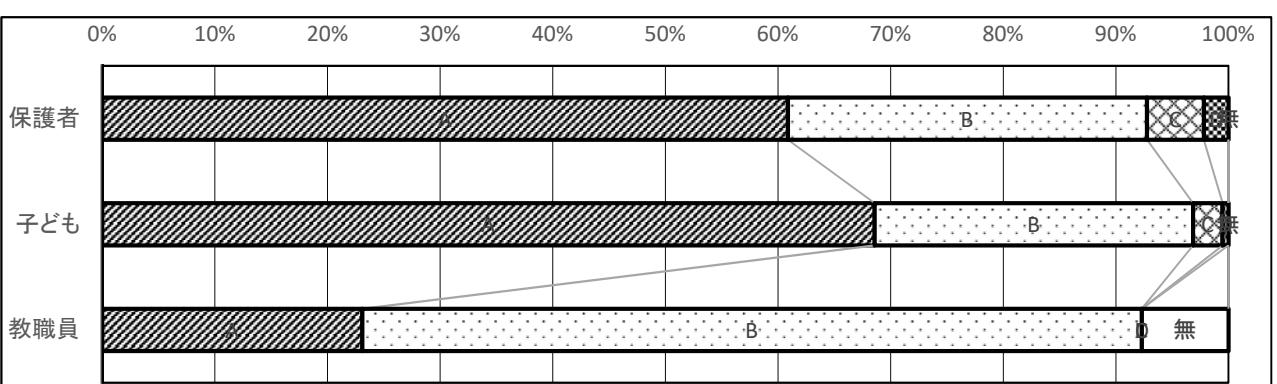
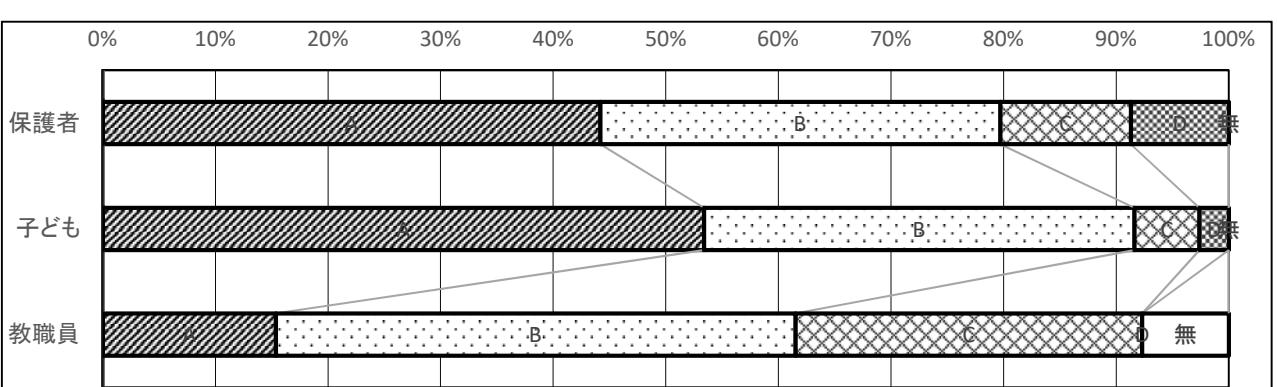
6年生が4月に行う「全国学力学習状況調査」では、家庭学習が充実している子どもは学校の学習でも高い得点をとれているという相関関係が認められています。

学校でも自学自習の姿を目指して指導していますが、引き続きご家庭でのご協力をお願いいたします。



今年の前期と比べると、児童と保護者の評価が下がっています。教職員の評価もCが約30%とこの項目について、課題がみられます。一つには、慣れからくるものもありますが、忘れ物があると、学習に支障をきたします。また、自学自習の観点でも自分で予定表を見て、学習の準備を前日にする習慣を身に付けさせていきたいです。

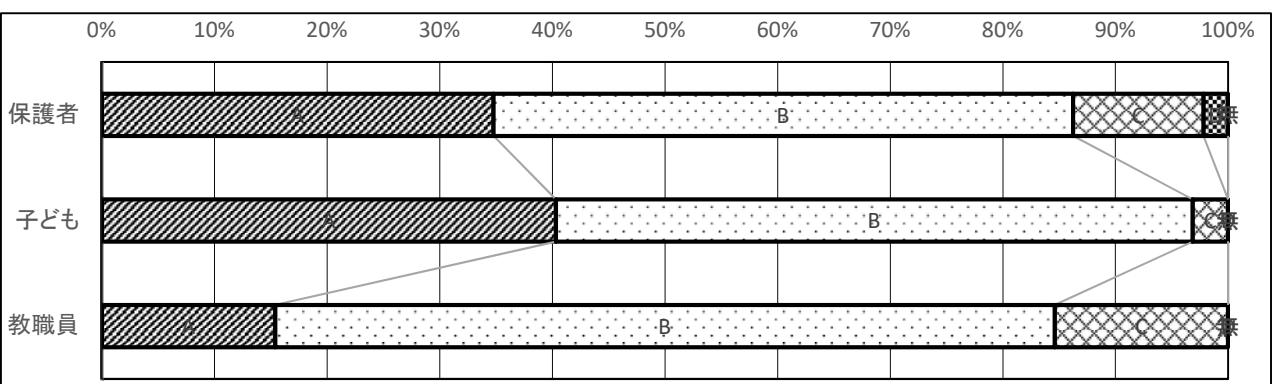
ご家庭での子どもたちに対するお声掛けを、今後もよろしくお願ひいたします。



今年の前期と比べると、児童の評価が上がっています。前期も高い数値を示していましたが、学校で友達と過ごすことの大切さが伝わってきます。学校生活を楽しいと感じてくれることは、指導者として何よりの喜びです。これは、クラスの中が良好であるという証でもあります。

教職員については、「A」の数値が低いですが、コロナの影響で、平素よりも欠席が多くなってしまうのも、原因かもしれません。

今後も、子どもたちの困りを解決し、温かいクラスづくりを進めていきます。



今年の前期と比べると、児童と保護者の評価が上がっています。きまりや約束を守ることは、授業中の集中力につながったり、お互いを大切にすることにつながったりします。

ご家庭では、きめ細やかに見ていただき、約束事などを守らせていただきありがとうございます。

個々によって守れていない項目が違うと思ういますが、その場に応じて声をかけ、自分を振り返り、自分をコントロールできる子どもを育てていきたいと思います。



# 洛中小学校だより

令和3年度  
臨時号②



⑨ 子どもは友達に優しくできている。

(保護者)

優しい気持ちをもって友達を大切に  
している。(児童)

いじめや仲間外れのない学級作りを重点にし  
た取組ができている。(教職員)

⑩ 子どもは自分からあいさつができている。

(保護者)

友だち、先生、地域の方に自分からあいさつ  
している。(児童)

子どもたちは元気にあいさつができるようにな  
ってきてている。(教職員)

⑪ 子どもはお手伝いや自分の仕事をきちんと  
できている。(保護者)

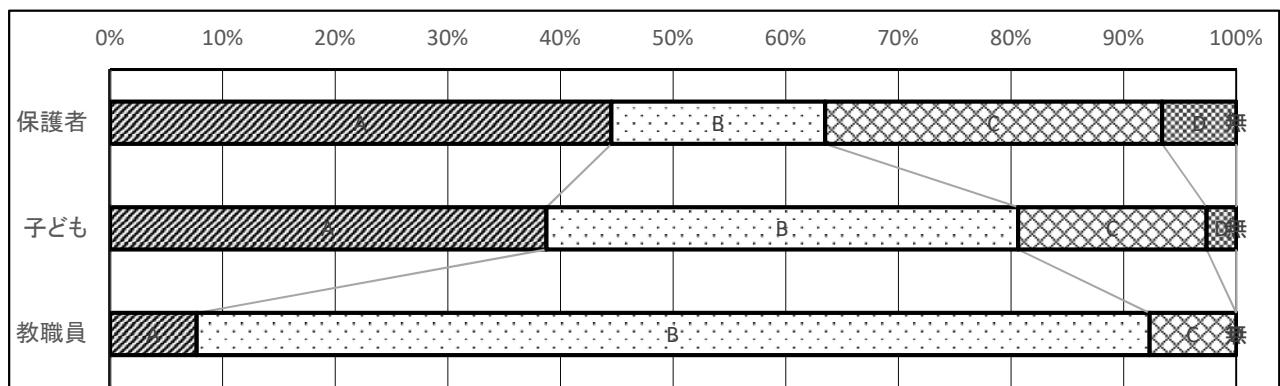
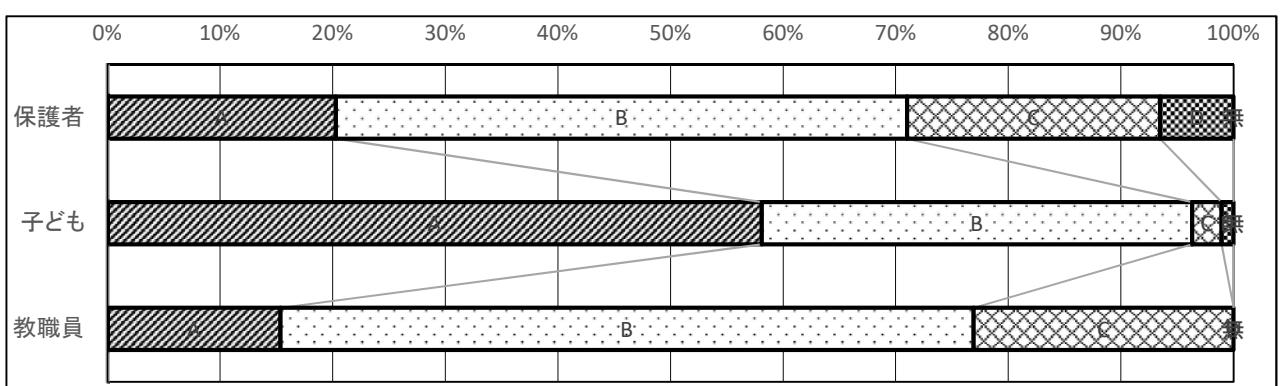
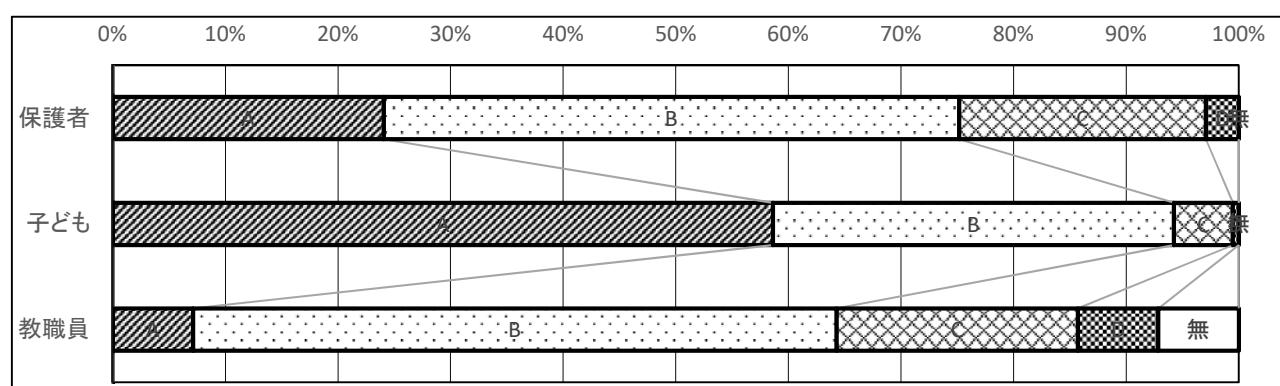
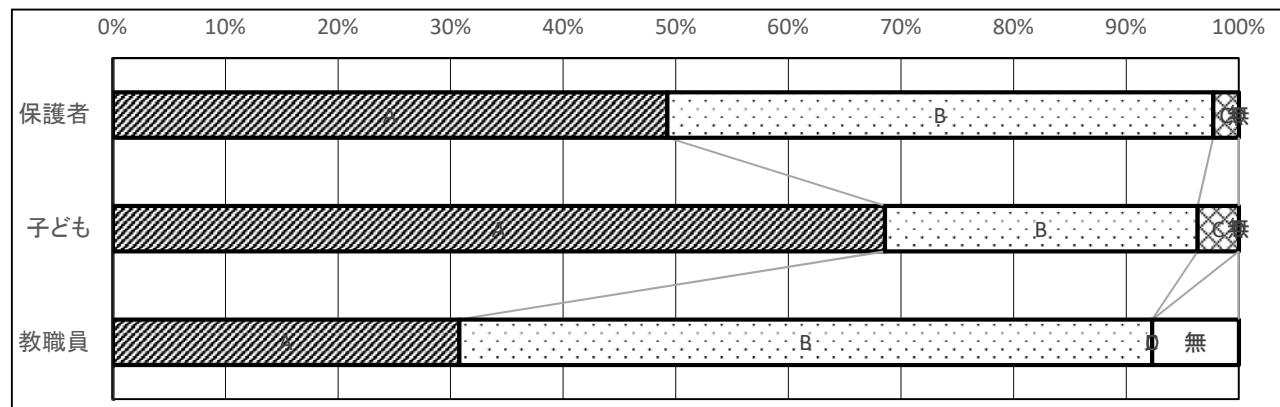
掃除、日直などの当番活動や係活動がきちんと  
できている。(児童)

子どもたちは当番活動や係活動をきちんと  
している。(教職員)

⑫ 子どもは、放課後や休みの日に外で進んで体を  
動かしている。(保護者)

進んで外で体を動かしている。(児童)

体力向上の取組を進めている。(教職員)



アンケートには、保護者の方々からコメントもいただいております。ありがとうございました。ご意見をお聞かせいただけますと、私たち  
が日常の指導・支援・取組について反省・改善していく契機となります。今後とも、忌憚のないご意見をお聞かせいただけたらと思います。  
それぞれの内容については、学校の教職員全体に周知して、今後の学校・学級活動の改善に生かしていきます。個別にお応えできる内容に  
については、個別にご連絡いたします。そのためにも、記名でのアンケートに今後もご協力下さい。よろしくお願ひいたします。

今年の前期と比べると、児童と保護者の評価が上がっています。

ただ、少数ですが、「C」評価を付けている児童がいることが気になります。

友達の良いところを見つけていくように支援していくとともに、いじめや仲間外れのないクラスづくりをこれからも大切にしていきたいと思います。

今年の前期と比べると、保護者の評価が上がり、児童の評価が下がっています。例年は逆の傾向にあるので、珍しい印象を受けました。

コロナ禍で、子どもたちは常時マスクをしているので、挨拶についても平時より消極的になる面があるかもしれません。

ただ、登下校時に気持ちの良い挨拶を自分からしている姿は少ないです。今後も、周りの大人が手本を示しつつ、継続的に指導をしていきます。

今年の前期と比べると、保護者の評価が下がり、児童の評価が上がっています。保護者の評価をみると、約3分の1の家庭で、あまりお手伝いや自分の仕事をきちんとできていない現状があるようです。

子どもたちの自己評価は高く、周りの大人の思いとのギャップを感じます。学校では、低学年では係活動や日直の仕事、高学年では委員会や児童会活動で、みんなのために、責任をもって頑張る力を育てています。ご家庭でも、年齢に応じて、家族の一員としての役割を持たせることで、子どもたちの意欲を高めていけるようお願いいたします。

今年の前期と比べると、児童と保護者の評価が上がっています。コロナ禍でまだ運動を制限されていますが、そんな条件下での遊びや運動の仕方を工夫しているようです。

また、子どもたちは、休み時間をとても楽しみにしており、元気に運動場で遊ぶ姿をよく見かけます。制限のある中ですが、子どもたちが意欲的に運動できるよう取り組んでいきたいと思います。

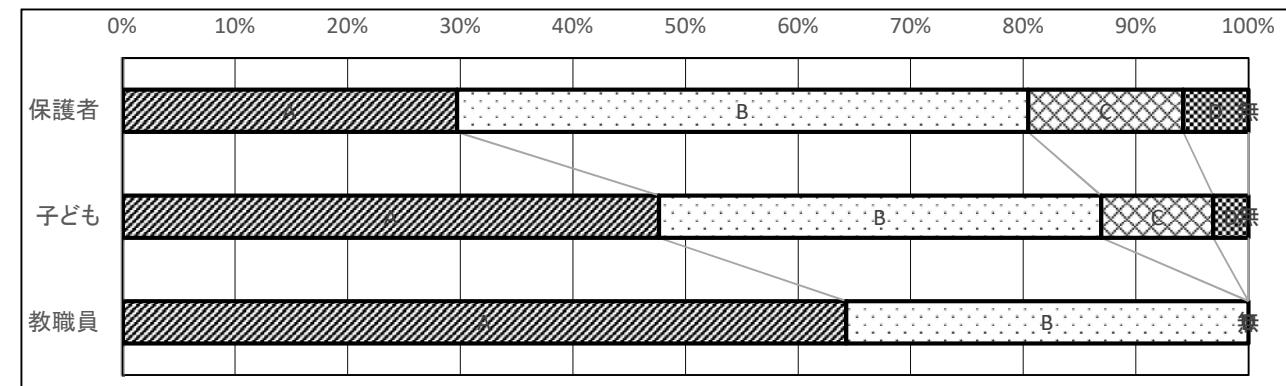
⑬ 子どもは好き嫌いなく食事を楽しんでいる。

(保護者)

好き嫌いなく楽しく食事をしている。(児童)

給食についての指導が計画的でできている。

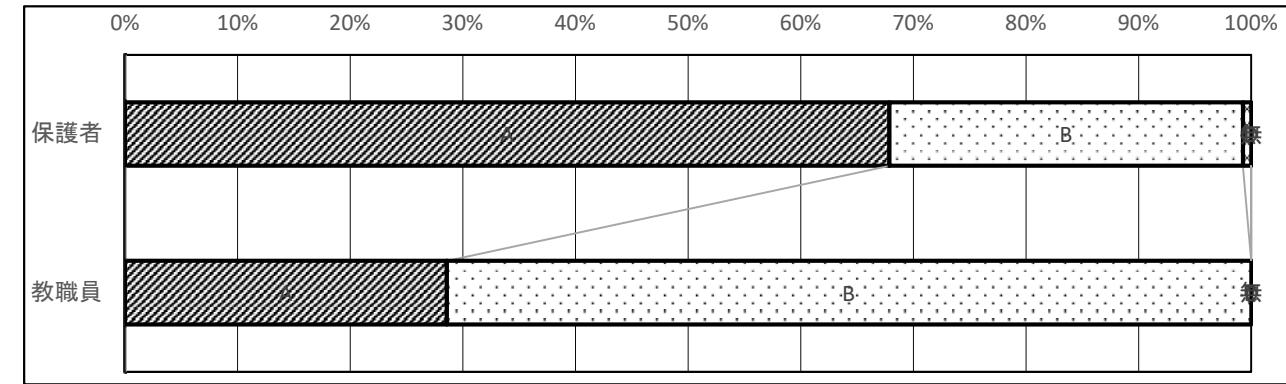
(教職員)



⑭ 教職員は保護者の話によく耳を傾けてくれる。

(保護者)

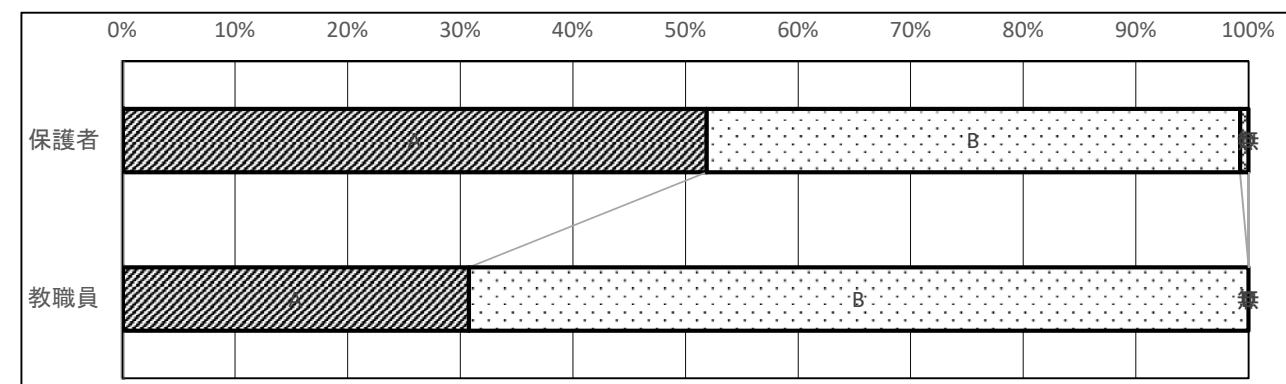
子ども・保護者の思いや願いを受けとめ、  
気軽に相談ができるようにしている。(教職員)



⑮ 学校はあたたかい思いやりのある心を

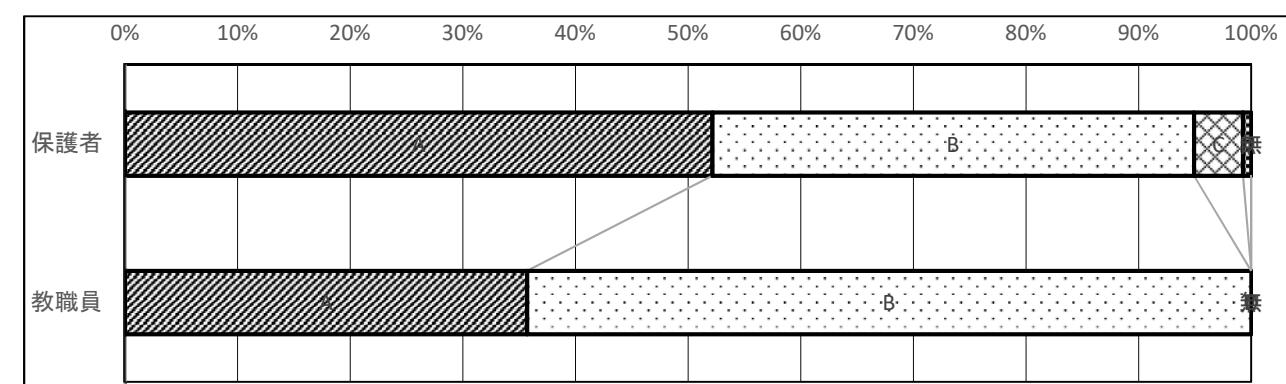
育てる活動に取り組んでいる。(保護者)

子どもたちに思いやりのあるやさしい心が  
育ち、実践力が身に付いてきている。(教職員)



⑯ 学校の取組が学校だより、学級だより、  
ホームページなどでよくわかる。(保護者)

学校情報の発信ができている。(教職員)

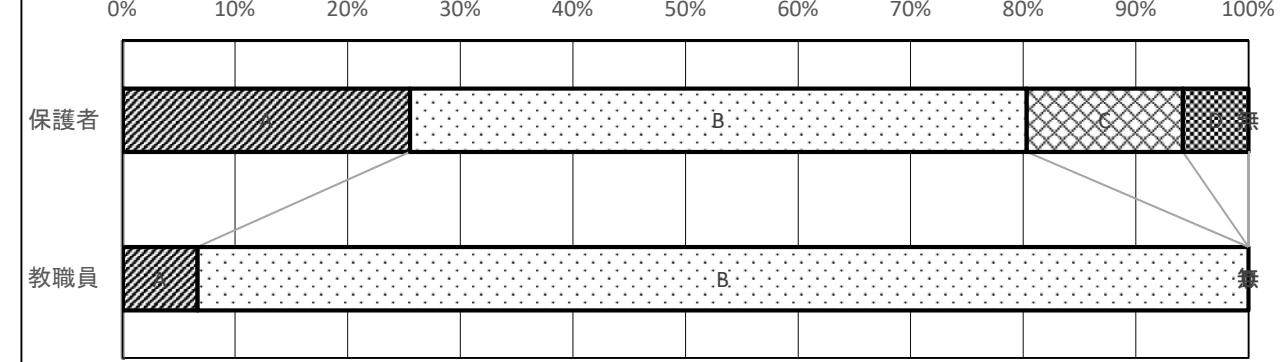


⑰ 学校行事やPTA行事等に参加するよう  
にしている。(保護者)

様々な取組や行事を通して、学校・家庭・

地域が連携し、子どもの教育にあたっている。

(教職員)



今年の前期と比べると、児童と保護者の評価が上がっています。

昨年度に引き続き、前を向いて黙食を行い、なるべく人の手を介さないよう配食するなど、コロナウイルス感染症対策を行ってきました。静かに食べることで、集中して味わって食べる様子が見られました。

給食に関する放送やteamsに給食カレンダー、動画などをあげて、給食や食についての興味・関心が深められるように取り組んできました。

今年の前期と比べると、全体的にあまり変わっていません。保護者の方とは、なかなか対面でお話させていただく機会がありませんが、各担任は、こまめにお電話でお話をさせていただいている。

子どもの様子は学校と家庭で違うことが多いと思いますので、保護者の方と連携を取りながら、どのようにかかわっていくかと一緒に考えていくたいと思います。

今年の前期と比べると、保護者の評価がやや下がっています。

保護者のA評価が教職員のA評価を上回っており、ありがとうございます。

教職員は、「実践力」という所に、課題を感じていると思われます。優しい気持ちをいっぱいもっている子どもたちですが、それを行動に移すためには、少しハードルがあるようです。子どもの様子をよく観察し、好ましい態度や素敵な行いをほめていけるように取り組んでいきたいと思います。

今年の前期と比べると、保護者の評価が下がっています。

参観日をはじめ、学校に足を運んでいたただく行方ができなかった分、HPや学級通信で発信してまいりましたが、学年、学級間で回数にばらつきがあるなど、保護者の方のニーズにこたえきれていなかったことは、反省点です。

ホームページでは、行事や日常の授業の様子など、今後もより一層伝えていきたいと考えています。

今年の前期と比べると、保護者の評価が下がっています。これは、新型コロナの関係で、行事が縮小したことに関係します。

そのような中ですが、今年は、洛中フェスティバルを企画していました。制約の多い中、「地域の子どもは地域で育てる」ということを大切に、学校とPTA・地域が一体となって、子どもたちの健全育成に努めていきたいと考えています。